

特集

特別委員会報告

全員審査特別委員会

北谷地区活性化と各地区の地域づくりに向けて

北谷地区活性化及び各地区の特色ある地域づくりに向けた基金条例が制定されました。

この基金設置の目的は、市内10地区の現状や課題を踏まえ、北谷地区の活性化、再生及び各地区がこれまで培ってきた固有の伝統、文化を保存、継承しつつ、新しい時代に対応した地域づくりを目指し、それぞれの地域住民が主体的に取り組む活動を支援することです。勝山市全体の地域力の向上を図ることです。基金の額は約2億1643万円です。審査の過程で、議論は基金のあり方から配分にも及び、どのような用途が市民にとって有益で、市の活性化につながる



滝波川第一発電所

がるかに集中しました。結果的に、「北谷地区以外の9地区に均等割及び人口割により配分する」という条文は「北谷地区を含む全地区の地域振興に充てる」に訂正されました。

被災者就学支援費について

勝山市では、東日本大震災での被災により市が受け入れた小中学校に在学する児童・生徒の保護者に対して、被災者就学支援費の援助を行っています。

この被災者就学支援費は、学用品費など、準要保護者の基準と同額の援助を行うものです。

現在、勝山市には福島県南相馬市などから、小学生4名、中学生3名の児童・生徒が就学されており（6月16日現在）、今後、受け入れが増える可能性もあることから、小学校8名、中学校6名分の予算が計上されました。また、高校生も4名就学されています。議会では高校生への支援も求めた結果、今後、その支援も検討していくとのことでした。



ネット柵

ネット柵について

昨年度、勝山市内でイノシシ181頭をオリで捕獲しましたが、春先からイノシシや二ホンジカが農作物を荒らす被害が広がっています。

市は捕獲の際破損したオリの修繕や、捕獲したイノシシの埋設費用を補助して捕獲を推進しています。また、電気柵や固定柵、ネット柵の設置にも補助をして被害防止に取り組み、今年度のネット柵設置は約15kmを予定しています。議会では「ネット柵は地元負担金が多額なために設置できない事例がある。地元で設置や管理をする場合には、せめて資材費の地元負担がないように補助制度を見直すべき」などの意見が出されました。

議員年金制度の廃止

市は「地元の直営施工費などを工夫して、地元負担金を軽減できないか検討する」としました。議会では「被害が広がって耕作放棄地が増えないよう、早急に取り組むべき」との指摘があり、市は「地元説明会を開催するなどして、早急に進めたい」としています。

市町村合併の、大規模かつ急速な進展に伴う議員数の急減、年金受給者の増加に加え、行財政改革に連動した議員の定数と報酬の削減が議員年金財政の急激な悪化を招き、6月1日をもって地方議会の議員年金制度が廃止されました。これに伴い、廃止時に既に年金を受給していた方への給付、特例退職年金及び特例退職一時金の給付にあてるための予算が計上されました。法律案は、国会の委員会において、付帯決議を附して可決されていますが、その中でもあるとおり、地方議会における人材確保を考えると、新たな年金制度の検討も望まれます。